

令和元年度 特別企画展

宮谷古墳 の 時代

開催期間

9月28日(土)▶12月1日(日)

午前9時30分から午後5時まで

(入館は午後4時30分までにおねがいします)

開催期間中の休館日

9月30日(月) 10月7日(月) 10月15日(火) 10月21日(月) 10月23日(水)

10月28日(月) 11月5日(火) 11月11日(月) 11月18日(月) 11月25日(月)



特別企画展特設 HP



徳島市立考古資料館 〒779-3127 徳島市国府町西矢野 10-1

URL <http://tokushima-kouko.jp> 電話:088-637-2526 FAX:088-642-6916

徳島市立考古資料館 令和元年度 特別企画展 「宮谷古墳の時代」

徳島市の西端、石井町と接して気延山がそびえています。この尾根筋のひとつに宮谷古墳は立地しています。宮谷古墳は全長 37.5 メートルの前方後円墳です。1988 年から翌年にかけて発掘調査がおこなわれ、三角縁神獣鏡が 3 面出土したほか、竪穴式石槨の埋葬施設を設けていたことが確認されました。

近年では古墳時代前期の早い段階の古墳と考えられるようになり、徳島市内では最も古い前方後円墳ではないかと考えられています。宮谷古墳が出現する少し前の徳島県内では前方後円墳の祖型とも考えられている突出部を持つ墳丘墓が吉野川北岸で築かれるようになっており、出土した鏡や埋葬施設の特徴からこの時期にはすでに畿内との密接な交流があった事を示しています。

今回の展示を通して墳丘墓や古墳、副葬品の特徴を知り、宮谷古墳の出現の意義について考えてみたいと思います。

特別企画展記念講演会 宮谷古墳を考える

講師

三宅良明氏（徳島市教育委員会）

菅原康夫氏（鳴門教育大学 嘱託講師）

寺澤薫氏（桜井市纏向学研究センター 所長）

日時

令和元年 10月5日（土） 午後 1時から 5時まで

場所

徳島市立考古資料館 研修室

聴講無料・申し込み不要

考古学入門講座も特別企画展仕立て

考古学入門講座 第5回

「三角縁神獣鏡と宮谷古墳の時代」

講師

岩本崇氏（島根大学法文学部 准教授）

日時

令和元年 9月28日（土） 午後 2時から 4時まで

考古学入門講座 第6回

「国指定史跡 鳴門・板野古墳群について」

講師

下田智隆氏（鳴門市教育委員会生涯学習人権課 副課長）

日時

令和元年 11月30日（土） 午後 2時から 4時まで

場所

徳島市立考古資料館 研修室

聴講無料・申し込み不要

展示解説会（約 50 分）

担当学芸員の解説を聞きながら展示を鑑賞してみませんか

9月28日（土）午後 1時 10月6日（日）午前 10時

10月20日（日）正午 10月22日（火・祝）午後 1時

11月4日（月・祝）午前 10時 11月30日（土）午後 1時

申し込み不要。当日展示室入口にお集まりください。

それは、倭王権はじまりの時代

宮谷古墳と気延山古墳群見学ウォーク

日時

令和元年 11月17日（日） 午前 10時から 正午まで

集合場所

徳島市立考古資料館 受付

参加費無料・申し込み不要

特別企画展関連ワークショップ

青銅鏡の铸造体験

砂を固めたものに文様を彫って鑄型をつくり
溶かした青銅を鑄型に流して鏡をつくります

日時

11月2日（土） 午前 10時から 午後 4時まで

場所

徳島市立考古資料館 研修室

対象・定員

小学生以上の方 25名

事前の申し込みと材料費 1,500 円が必要です。

（9月28日より資料館へ直接または電話にてお申し込みください）

主な展示資料

宮谷古墳出土資料

（当館所蔵）

森尾古墳出土三角縁神獣鏡

（東京国立博物館所蔵）

阿王塚古墳出土画文帯神獣鏡

（宮内庁書陵部所蔵）

北和城南古墳出土三角縁神獣鏡

（奈良国立博物館所蔵）

黒塚古墳出土三角縁神獣鏡 [複製]

（天理市教育委員会所蔵）

ホケノ山古墳関連資料

（奈良県立橿原考古学研究所所蔵）

萩原 1 号墓出土画文帯神獣鏡

（徳島県教育委員会所蔵）※展示は 10月31日まで

天河別神社古墳群出土神獣鏡

（徳島県立博物館所蔵）

丹田古墳出土獣帯鏡

（東みよし町立歴史民俗資料館所蔵）

内里古墳出土三角縁神獣鏡

（耕三寺博物館所蔵）

主催

徳島市立考古資料館・徳島市教育委員会

後援（順不同）

徳島県文化財保存整備市町村協議会 徳島市文化財保勝会連絡協議会

徳島新聞社・朝日新聞徳島総局・毎日新聞徳島支局・読売新聞徳島支局

NHK 徳島放送局・四国放送・国府町CATV